

## 平成29年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表(年度末評価)

学校教育目標	中・長期的目標		
	<p>○ 農業や関連産業の振興はもとより、地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。</p> <p>○ 農業の持つ教育力を最大限活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。</p>		
	重点目標	評価(記述)	評価
<p>一 質実・剛健</p> <p>一 誠実・堪能</p> <p>一 積極・真摯</p>	<p>1 環境教育等農業高校の特徴を生かした新たな取り組みの実践。</p> <p>2 生徒の可能性を広げる学習の実践。</p> <p>3 地域社会に貢献し、信頼される学校づくりの実践。</p> <p>4 本校の良き伝統・慣習を継承した教育活動の実践。</p> <p>5 あらゆる教育場面での安全教育の実践。</p> <p>6 互いを尊重する心を育て、健全で充実した高校生活を送るための環境づくりの実践。</p>	<p>1 郷土の景観保全、環境保全型農業、資源の有効活用等の農業高校の特徴を生かした、新たな学習・研究活動を昨年同様に積極的に行うことができた。</p> <p>2 希望する進路実現を支援することができた。ただし、基礎学力の定着と伸長を図る支援は、家庭学習等を含め、さらなる工夫と努力が必要であることから、進路指導部体制の見直しを行い、支援体制の充実を図る。</p> <p>3 各学科の学習や特別活動等とおして、地域貢献や地域と連携・協働した教育活動を本年度も推進することができた。地域からの評価・期待も高まっている。</p> <p>4 今年度も就職者の約95%以上が地元で就職するなど、地域に根ざし、地域の農業・産業を担う社会人を育成する本校の使命・伝統を踏まえた教育活動を実践することができた。今後、県外の大学・専門学校等へ進学する生徒のUターンへの働きかけ・動機付けに一層努めたい。</p> <p>5 学校生活全般、実験・実習、班活動等において、安全教育に心がけ、重大な学校事故等を防ぐことができた。しかし、通学途中の自転車での事故はゼロにはなっておらず、安全教育のさらなる実践が必要である。</p> <p>6 本校で成長できたと感じている生徒が約85%、本校へ子どもが入学して良かったと感じている保護者が約91%である。概ね充実した学校生活を送るための環境づくりが実践できている。今後、学校生活が充実していないと感じている生徒・保護者の意見・要望を教育活動に反映させていきたい。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>

<A:達成できた B:概ね達成できた C:不十分であった>